

別紙1

令和5年度

事業計画書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

令和5年度 事業計画

事業運営方針

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会が掲げる活動理念「観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化及び文化の向上に寄与する」ことを目的に、達成手段となる各種事業を柔軟且つ効果的に展開します。併せて現況における観光業界の果たす役割と重要性を改めて認識した上で、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞を余儀なくされた観光関連団体等とのさらなる連携を模索しながら、尚一層の地域の魅力発信に努めていきます。

令和4年度は、政府の方針によるコロナ禍での行動制限等の緩和措置に伴い、地域の祭りイベント等の開催も幾分持ち直しを見せ、首都圏等からの人の往来とともに俄かに平常が近づきつつあるよう感じた側面もありました。当協会では各種祭り行事の振興に尽力したほか、市内商店街等の協力のもと街なかでさんさ踊りを披露する新規事業「街なかさんさ」に参画し、延べ30回の伝統さんさ踊り団体を派遣するなど賑わいの創出に貢献しました。また、岩手・もりおかコンベンションフェアの開催においては、当協会会員事業者と協力して、最新の情報をMICE主催者に提供するなど誘客に向けた支援相談等を行い、アフターコロナの活況を見据えた事業展開に努めたところです。

令和5年度は、先ごろニューヨークタイムズが発表した「2023年に行くべき52カ所」に、盛岡市がロンドンに次いで2番目に紹介されたことを契機に、国内はもとより外国からの観光客が訪れることを今まで以上に想定し、コロナ禍からの脱却とさらなる観光振興に向けて以下の重点事項を核に各種事業を推進します。

1. 観光振興について、需要が回帰し新たなニーズが求められる教育旅行をはじめ、海外メディアにより盛岡が訪問好適地として取り上げられ追い風下にある外国人観光客の誘致促進において、一般・教育を含んだ団体旅行誘致説明会やオンライン商談会への参加や旅行会社への情報提供など誘致活動を展開するとともに、観光客の利便性向上に向けて関係機関等と連携した観光案内など受け入れ態勢の充実や広域連携等の推進に努めます。
2. コンベンション振興について、盛岡MICE助成金など各種支援助成制度や令和4年度に作製したMICE誘致PR動画を活用し一層の誘致促進に向け首都圏等の主催団体や受入れ地元関係者等への積極的な誘致活動を行ってまいります。
3. 施設の管理運営と自主事業について、指定管理を行っている「盛岡市観光文化交流センター」「もりおか啄木・賢治青春館」「もりおか歴史文化館」において、自主企画事業を積極的に展開し文化の向上と魅力発信に努めるとともに、利用者ニーズを的確に受け止めた施設運営を実践し、来館者の増と地域の賑わいに結び付けます。また、今年度予定される次期指定管理者申請（令和6年度から）に引き続き対応します。

公1：観光情報の発信及び国内外観光客の誘致促進並びに受入体制の整備など観光振興に関する事業

1. 広報宣伝事業

(1) 広告宣伝事業

イベント・まつり等の情報提供や地域製品のブランド化のため、新聞や旅行雑誌、パブリシティ等を利用した情報宣伝活動を行うとともに、国内及び海外からの観光客及び旅行代理店やメディア取材等に旬の情報を提供する。

(2) インターネット活用事業

ホームページやSNSを活用して盛岡及び周辺地域の観光情報の収集に努め、魅力ある観光情報を内外に発信する。とりわけ、海外メディアに取り上げられたことから、需要が増加すると考えられる外国人対応について、ホームページにおいて必要に応じて英語併記による情報発信を行う一方、賛助会員の外国語対応を支援するため、英中韓3ヶ国語による翻訳ウェブサイトを設置公開する。このほか、賛助会員ほか事業者によびかけ、バナー広告を掲載する。

2. 観光案内事業

(1) 観光案内施設整備事業

岩山スカイハイツを利用して観光案内写真や市内鳥瞰図等を展示し、岩山自然公園地区を訪れる観光客に対する観光宣伝と市内周遊を図る。

(2) 観光ボランティア事業

盛岡ふるさとガイド事業において、イヤホンガイドシステムを引き続き活用し案内サービスの向上に努める一方、近年、教育旅行主催者から、ツアー時間の短縮に対する要望が増していることに対応し、短時間コースを新設し、より一層「歩いて楽しむまち」としての魅力を発信する。また、1月の米国海外メディアによる盛岡紹介の影響により、外国語によるツアーへの需要も増すと考えられるため、盛岡善意通訳ガイドらと連携して案内の充実に努める。

3. 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致キャンペーン事業

ア 観光客誘致事業

観光客、旅行代理店のニーズに合わせた各種誘客パンフレットの提供活動を実施する。

イ 祭文化・伝統芸能活用事業

チャグチャグ馬コ、盛岡さんさ踊り、盛岡秋まつり風流山車など、盛岡を代表する祭りの周知宣伝活動を行うとともに、好評を得ている盛岡さんさ踊り体験や風流山車を通じた国際友好

交流等を継続し推進する。あわせて、令和5年度も開催予定である「つなぎでつなぐ盛岡さんさ踊り」（つなぎ温泉で常設公演）についても支援する。

また、盛岡芸妓宣伝周知活動により盛岡固有の日本のおもてなし文化について理解を広め、祭・文化・芸能の振興を図る。さらに東北各地の祭を一堂に集めて青森市で開催される「東北絆まつり 2023 青森(6月)」に盛岡さんさ踊り振興協議会として盛岡さんさ踊り実行委員会とともに参加し、全国からの来場者に盛岡の郷土芸能の魅力を発信する。

(2) 教育旅行誘致事業

ア 教育旅行誘致説明会への参加

岩手県観光協会が開催する教育旅行誘致説明会等にリアル、オンラインを問わず参加し、当地への教育旅行の誘致活動を行う。あわせて、学校側・旅行代理店側の求めに応じ、教育効果に配慮した体験メニューの造成と提供を行い、教育旅行関係者との結びつきを継続強化する。

イ 旅行会社及び学校等訪問活動

来訪の期待される北海道などの旅行会社及び学校関係者と個別に連絡をとり情報収集するとともに、誘客素材の提供を行うことで商品造成と来訪を促す。

ウ 教育旅行客体験学習メニューの開発

盛岡さんさ踊り体験学習に加え、職人講話など新たな体験型プログラムへの要望が増加していることから、会場となる市内施設や賛助会員を中心とした事業所等と連携してメニューの充実に努める。

エ 教育旅行の利便対策等

指定管理者として運営する施設「盛岡市観光文化交流センター(プラザおでっ)」を活用し、引率教員向けの待機本部および体験学習の場として会議室を提供する等サービスの向上を図る。

(3) 外国人観光客誘致受入事業

外国人観光客の回復の動向を見守りながら、岩手県や盛岡市などが実施する海外プロモーション活動に合わせ、時事最新の盛岡の観光素材をPRする。とりわけ米・ニューヨーク・タイムズにより盛岡が訪問公的地として取り上げられたことにより見込まれる需要増に対し、個人旅行化、体験型化などの傾向に応じた宣伝活動に必要なに応じて日英二か国語での情報提供等により務める。また、コロナ禍で一時中断の航路再開を期し、引き続き独自性の高い花巻空港で実施する国際チャーター便歓迎実行委員会による歓迎行事に継続参加して岩手県への注目度向上の一環としての盛岡広域への誘客を図る。さらに、観光関係施設・事業所向け英語・中国語・韓国語翻訳サイトの順次公開により、増加する外国人観光客への賛助会員の受け入れサービス

の質の向上を後押しする。

(4) その他観光客誘致促進事業

ア 冬のイベント振興事業

もりおかイルミネーションブライツ事業と連携し、冬季入り込み客需要の増進を図る。

イ スキー客の誘客事業

海外メディアで盛岡市が取り上げられたことによるアフタースキーヴェニューとしての利用客が見込まれることに留意しつつ、岩手県、いわてウインターリゾート協議会と連携して誘客・受け入れ活動の展開に努める。

ウ その他観光振興事業

盛岡広域圏観光の振興のため、岩手県、ゆかたのまち盛岡推進事業実行委員会、岩手県・盛岡市グリーンツーリズム協議会、盛岡広域スポーツコミッション等と連携して誘客活動を展開する。また、市が実施する各種関連事業と連携し観光客受入振興を図る。

4. まつり行事振興事業

(1) まつり行事振興事業

各種まつりイベントの支援助成を行い行事の宣伝普及に努める。とりわけ、日英併記での情報提供を必要に応じで考慮する。また、山車運行委員会、盛岡さんさ踊り振興協議会2団体の事務局業務を担当し、他の構成団体とともに祭の特性を活かした情報PRにつとめる。

《主な祭りイベントと開催日程（予定）》

ア	姫神山やま開き	5月21日(登山口または神社での安全祈願神事等)
イ	YOSAKOIさんさ	5月28日
ウ	東北絆まつり2023 青森市	6月
エ	盛岡さつき祭り	6月9日～11日
オ	チャグチャグ馬コ	6月10日
カ	大盛岡神輿祭	6月
キ	盛岡・北上川ゴムボート川下り大会	7月23日
ク	盛岡つなぎ温泉御所湖夏まつり(第41回)	7月
ケ	盛岡さんさ踊り	8月1日～4日
コ	盛岡七夕まつり	8月4日～7日
サ	玉山夏まつり	8月5日
シ	盛岡花火の祭典	8月

ス	盛岡舟っこ流し	8月16日
セ	盛岡秋まつり	9月14日～16日
ソ	岩洞湖まつり	9月
タ	いわて盛岡シティマラソン	10月22日
チ	もりおか味と工芸展	開催予定
ツ	第5回盛岡国際俳句大会	11月12日
テ	全日本わんこそば選手権大会	11月
ト	盛岡文士劇	12月初旬
ナ	もりおかイルミネーションブライト	12月中旬～2月下旬

5. ブランド振興事業

(1) 文化イベント振興事業

盛岡広域フィルムコミッションの事務局として、ロケ誘致及びロケ支援活動を実施する。映画・テレビなどの制作会社等に対し、ホームページ等も活用しながら盛岡市及び盛岡広域市町の景観・人物・文化・特産品等の素材をもとにロケ地を紹介し映像化を推進するほか、エキストラの新規勧誘にも努める。また、映画・テレビ終了後の観光へ繋がるよう努める。

(2) その他ブランド振興事業

優良な地場産品の開発や情報発信を行っている盛岡手づくり村の事業を支援する。

6. 観光資源活用事業

(1) 東京事務所連携事業

盛岡市東京事務所及び東京ふるさと会等と連携し、首都圏での観光コンベンション振興のためPR事業を進める。

7. 玉山地域観光振興事業

(1) 玉山地域観光振興事業

ア 第57回姫神山やま開き事業 5月（委細未定）

盛岡市と連携し、日本二百名山の一つである姫神山登山の安全祈願を実施する。

イ 啄木学級事業（啄木学級文の京講座 7月7日 啄木学級故郷講座 9月2日）

盛岡市及び石川啄木記念館（公益財団法人盛岡市文化振興事業団）と連携し、啄木終焉の地で盛岡市の友好都市でもある東京都文京区（文京シビックホール）において、友好都市提携5周年記念事業として「文の京講座」を、啄木生誕の地である盛岡市において、「故郷講座」を実施する。

ウ 玉山地域観光振興事業

ユートランド姫神の利用促進など玉山地域観光事業の実施とその周知を図る。

8. 観光客受入体制整備事業

(1) いわて・盛岡広域観光センター運営事業

日本政府観光局（JNTO）の認定を受けたビジット・ジャパン案内所「いわて・盛岡広域観光センター」を運営。盛岡駅構内南口において、国内外からの観光客に岩手県、盛岡広域などの観光情報を提供し、観光相談、交通案内、宿泊予約等に対応する。また、デジタルサイネージを活用し、プロモーション動画で盛岡等の魅力を発信。東北の観光案内所のネットワーク化事業による案内機能の強化と東北全体の周遊を促進する。

9. おもてなし推進事業

(1) 被災地復興支援誘客事業

これまで収集した復興支援に関する情報や県内主要観光イベント情報をホームページ等で紹介することにより、盛岡地域及び沿岸地域への誘客を図り被災エリアの復興を支援する。

公2：国内外からのコンベンションの誘致・支援及び情報収集等コンベンション振興に関する事業

1. コンベンション誘致支援事業

(1) IME展事業

JCCB(日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)、JNTO(日本政府観光局)が共催する国内最大のMICE(会議、報奨・研修旅行、国際会議・大会、展示会・スポーツイベント等)主催者との商談会である国際MICEエキスポ/IMEに出展し、誘致活動及びコンベンション開催情報を収集する。

(2) コンベンション誘致対策事業

- ア 首都圏等の学会・大会事務局、地元主催者等に対し、各種助成・支援制度等のコンベンション関連情報を提供する誘致活動を展開するほか、今後の支援や誘致のための開催情報を収集する。また、各種助成・支援制度やコンベンション向けサービス・商品情報を提供する「岩手・もりおかコンベンションフェア」を開催し、地元主催者・キーパーソンの開催意欲向上を図るとともに、ウィズコロナ対応サービス・商品を提供できる業者を含めた地元関係機関の連携・受入態勢をさらに強化し、誘致促進を図る。
- イ (公財)金沢コンベンションビューロー、(公財)するが企画観光局(旧静岡観光コンベンション協会)、(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、(一財)熊本国際観光コンベンション

協会，当協会で構成する5都市会議に出席し，情報・意見交換し，支援内容の充実，誘致活動に活用する。

ウ 東北地区コンベンション推進協議会が東京都内で開催するMICE誘致商談会に参画し，盛岡及び岩手県へのコンベンション誘致促進を図る。

エ 地方都市コンベンション関連団体（(一社)つくば観光コンベンション協会，(公財)岐阜観光コンベンション協会，(公社)和歌山県観光連盟，(公財)新潟観光コンベンション協会，(一社)松本観光コンベンション協会，(公社)びわこビジターズビューロー，(公財)高松観光コンベンション・ビューロー）が首都圏で開催する誘致商談会等に参加し，誘致活動を展開する。

オ 盛岡MICE誘致PR動画を活用し，MTCAホームページへの掲載等を通じて，盛岡への積極的誘致を図る。

(3) コンベンション支援事業

ア 歓迎ポスターの作成

参加者1,000名以上のコンベンションを対象に歓迎ポスターを作成し，賛助会員，商店街・交通機関等に配付・掲出し，コンベンション参加者へ歓迎の意を表するとともに市民へ周知し，歓迎ムード盛り上げを図る。

イ 盛岡駅周辺歓迎看板の設置

コンベンション開催に際し，盛岡駅前東口バスターミナル内歓迎塔の他，盛岡駅東西自由通路さんさこみち内歓迎看板作成の支援・作成費補助を行う。

ウ 観光ガイドマップ，コンベンションバッグの作製及び提供

各種観光パンフレットのほか，更なる観光，飲食店等の利用促進のため，コンベンション参加者向けのクーポン付きオリジナルガイドマップを作製し，提供する。また，コンベンションバッグを廉価にて提供する。

(4) サポーター派遣育成事業

コンベンション主催者からの派遣要請を受け，MTCAサポーターを派遣し，大会参加者を歓迎し，運営業務補助を行う。併せて「MTCAサポーターの会」事業について支援し，サポーターの資質向上を図る。

2. 企画開発情報収集事業

(1) 各種情報収集連絡会参加事業

ア 東北地区コンベンション推進協議会

新潟・長岡・上越を含む東北17地区のコンベンション推進機関との連携強化のため，「東北

地区コンベンション推進協議会」総会及び研修会に参加し、収集したコンベンション関連情報等は誘致・支援活動に活用する。

イ JCCB主催研修会等

日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)等が主催する会議・研修会(オンライン含)等への参加を通じ、全国のMICE関連情報の収集を図り、誘致・支援活動に活用する。

ウ コンベンション開催調査

学会・大会主催者に対し、コンベンション開催意向調査を実施、回答をデータベース化し支援・誘致活動に活用する。

3. 盛岡 MICE 助成金交付事業

盛岡市への全国大会・国際会議等のMICE誘致を推進し、交流人口の拡大と広域観光の振興を図るため、盛岡市内の施設を主会場として開催されるMICEの主催者に対し、参加者の人数に応じて、開催経費・アトラクション料金等の一部について助成金を交付する。

公3：自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業

1. 自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業

(1) 盛岡市観光文化交流センター(プラザおでって)運営事業

施設の設置目的に合致した地域文化の向上と活性化につながる自主企画事業を積極的に展開するとともに、観光情報の提供や相談を行い街歩き観光の魅力を紹介する。

主な自主企画事業は次のとおり。

(ア) おでってミュージックシアターVOL.4

- ・多様な音楽ジャンルから種別テーマを掲げて演奏するライブ

(イ) おでって芸能館VOL.56「民謡編」

- ・民謡や三味線演奏に愉快的なトークを交えた舞台公演

(ウ) 中津川べりフォークジャンボリー(共催事業)

- ・プラザおでって開館と共に歩むアマチュアミュージシャン達によるフォークの祭典

(エ) おでって芸能館VOL.57「郷土芸能編」

- ・地域に根付いた貴重な伝統文化を紹介するシリーズ

(オ) おでって短編シアターVOL.5

- ・落語や短編朗読等の舞台公演

(2) もりおか啄木・賢治青春館運営事業

施設の設置目的に合致した地域文化の向上と活性化につながる自主企画事業を積極的に展開

するとともに、施設の特性を活用した観光文化情報等を発信する。

主な自主企画事業は次のとおり。

<企画展>

(ア)「下川求展」(版画・アクリル画等) 4月～7月

・盛岡市在住の画家、下川求氏の作品展。盛岡市内で「可否六分儀」を営みながら版画制作を続けてきた下川氏の銅版画、木版画、アクリル画を展示予定。

(イ)「吉田康男展 一賢治と環境と音楽と」 7月～10月

・盛岡市在住のグラフィックデザイナー・イラストレーター吉田康男氏の作品展。宮沢賢治、音楽や環境をテーマにしたポスターを展示予定。

(ウ)「加藤祐子展」(絵画) 10月～1月

・紫波町在住の画家、加藤祐子氏の作品展。近年発表しているまちの中の「壁」や「水」をテーマとした一連の作品を展示予定。

(エ)「盛岡ゆかりの人物伝」(人物紹介等) 1月～3月

・常設展示では紹介しきれない啄木や賢治等、盛岡ゆかりの人々を紹介。

<コンサート>

(ア)「フルートカルテット」 5月

(イ)「進藤義武弦楽四重奏団コンサート」 9月

(ウ) その他弦楽コンサート調整中

(3) もりおか歴史文化館運営事業

当協会と株式会社乃村工藝社(共同名称:もりおか歴史文化館活性化グループ)とで指定管理共同運営(令和元～5年度)を行っている同館において、当協会では観光アテンダントを派遣し、「町なか情報センター」及び「ミュージアムショップ」におけるインフォメーション機能を広く観光案内分野に活用するとともに、南部家をコンセプトとした盛岡市の歴史に触れるまち歩き観光の拠点と位置付け、盛岡ふるさとガイド等の効果的な運用とあわせ、街歩き観光を推進する。

収1:施設の管理運営事業

1.施設の管理運営事業

(1)盛岡市観光文化交流センター(プラザおでって)管理運営事業

盛岡市から指定管理者の指定(令和元～5年度)を受け、盛岡市観光文化交流センター(プラザおでって)の管理運営業務を行う。中でも、利用者の便宜を図るために導入した会議室等

へのWi-Fi システムを活用し、来館者増を図る。

(2) もりおか啄木・賢治青春館管理運営事業

盛岡市から指定管理者の指定（令和元～5年度）を受け、もりおか啄木・賢治青春館の管理運営業務を行う。

(3) もりおか啄木・賢治青春館喫茶事業

同館の指定管理運営（令和元～5年度）を行うとともに、来館者及び観光客等の懇談、休憩場所として、喫茶コーナーの管理運営を併せて行う。

収2：収益に関する事業

1. 収益に関する事業

(1) 観光グッズ販売事業

観光クリアファイル、マルチモバイルケース、絵葉書、観光名刺台紙などオリジナルグッズの企画製作と販売を行い、観光サービスの充実を図る。

(2) 第三種旅行業・観光企画事業

盛岡エリアの観光施設・アイテムを盛り込んだデータコンテンツを更新し、旅行代理店等に提供することにより旅行商品の造成、送客を促す。また、盛岡市に事務局を置く盛岡八幡平広域観光圏推進協議会に参画し、秋田県鹿角市、小坂町等を含めた広域周遊による滞在型観光を推進し、商品化への取り組みを図る。

(3) ホテル旅館宿泊斡旋事業

観光客等への宿泊手配サービスのため、賛助会員の宿泊施設等の紹介を行う。

(4) プレイガイド事業

チケット販売等のプレイガイド業務を行い、地域文化の振興と市民の文化活動を支援するとともに、観光文化交流拠点として市民及び観光客への利便を図る。

(5) 接遇研修事業

賛助会員ほか自治体や商工会議所など観光関連団体の職員を対象とし、おもてなしの心を向上させることを目的とした「接遇研修会」を開催する。

(6) 観光カレンダー作製・配布事業

盛岡の観光カレンダーを作成し、賛助会員など関係機関・団体に配付するとともに市民、観光客向けに販売を行い、盛岡の魅力を内外に宣伝する。

(7) 推せんの店標識貸与事業

協会の賛助会員のうち、観光客や修学旅行生が安心して利用できる飲食・土産品物産・宿泊施設等の店舗について「推せんの店」として認定する。推せんの店について、協会ホームページでの店舗紹介に加え、新規に導入するデジタルマップを活用して観光客等への利便の向上を図るとともに、その普及宣伝に努めるなかで賛助会員の新規加入勧誘を推進する。

(8) その他（レンタサイクル）事業

市街地観光を推進するため、賛助会員及びプラザおでっのレンタサイクル事業を宣伝し、活用するとともに、海外メディアによる盛岡市紹介による需要対応のため、申込書の日英併記化を図る。